

# ふくしま共創のまちづくり計画

## 土湯温泉町地区（素案）

### 地域ビジョン

#### かんこうち サステナブルな歓幸地の創造へ

GX・DX・HX<sup>※1</sup>を基幹とした「まちのこし」の推進

※1

- ・人に優しい温かいまち
- ・ともに支え合う、安全安心なまち
- ・豊かな自然と環境に生きるまち
- ・お年寄りに安らぎ、青年に希望、子どもに夢を育むまち
- ・SDGs<sup>※2</sup>（持続可能な開発目標）を意識したまち

GX（グリーントランジション）とは、脱炭素と経済成長を両立するためのクリーンエネルギーへの転換。

DX（デジタルトランジション）とは、デジタル技術で業務や組織を根本的に変革すること。

HX（ヒューマニスムトランジション：造語）とは、人や組織の意識・行動・風土を根本から変革し、成長を促すこと。

※2  
SDGsとは、持続可能な開発のための17のグローバル目標と169のターゲット（達成基準）からなる、国連の開発目標。



温泉街の全景

### 地域の個性

【温泉】福島市西部、磐梯朝日国立公園内にある土湯温泉は、1400年以上の歴史を持つ名湯。春から夏は花々が咲き誇り、秋から冬は紅葉が美しく、四季折々の自然が魅力的です。泉質は単純温泉や炭酸水素塩泉など10種類以上の源泉があり、宿泊施設で気軽に湯あみを楽しめます。

【自然環境】土湯温泉は、日本一の清流「荒川」の上流に位置し、「男沼、女沼、仁田沼、照南湖」など湖沼群に恵まれた自然豊かな地域です。

【公共交通】土湯温泉は、JR福島駅からバスで40分、東北自動車道福島西ICから車で20分の場所にあります。土湯温泉から山あいへ車で30分、土湯峠温泉郷があります。

【歴史・産業】古くは聖徳太子の時代にさかのぼり、旧会津街道の宿場町、山岳宗教の宿坊地として、同時に湯治温泉場として栄えてきました。太子信仰による聖徳太子堂や上杉藩の家老直江兼続にゆかりのある興徳寺、山の守り神が祀られている熊野神社があります。

また伝統工芸として土湯伝統こけしがあります。令和7年3月には「土湯伝統こけし製作技術」が市指定無形民俗文化財に指定されました。

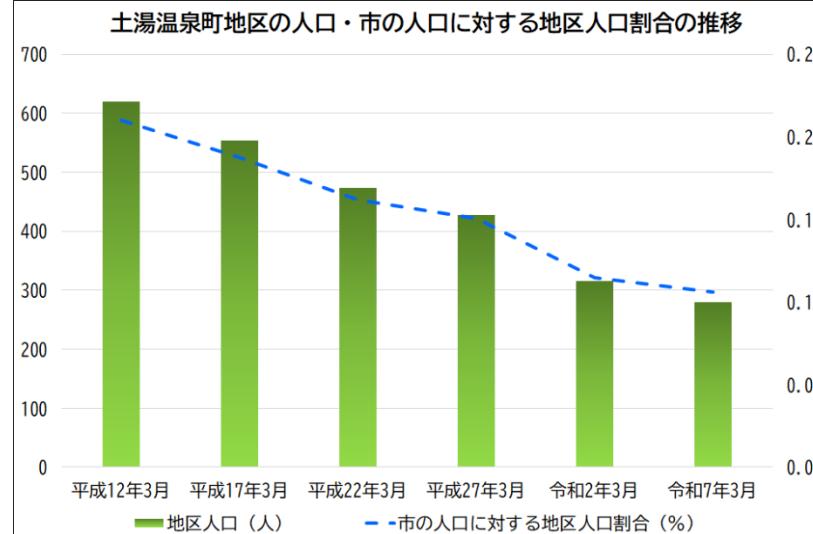
【祭り】「土湯温泉盆踊り」「土湯小唄」「土湯音頭」は独自の伝統芸能があり、「土湯温泉盆踊り保存会」により継承されています。

【イベント】自転車競技イベント「磐梯吾妻スカイライン・ヒルクライム（土湯ステージ）」は、雄大な吾妻連峰の自然を満喫できる大会として、全国のヒルクライム愛好者に広く知られています。



【盆踊り】

作成：土湯温泉町地区まちづくり  
計画策定懇談会  
事務局：土湯温泉町支所内  
電話：(024) 595-2051



土湯温泉町地区の基礎データ（R7.9末現在）		
項目	土湯温泉町地区	市全体
面積	57.74km <sup>2</sup>	767.72km <sup>2</sup>
人口（人）	283 (市全体の0.1%)	262,122
15歳未満	13 4.6%	29,778 11.4%
15~64歳	129 45.6%	148,788 56.8%
65歳以上	141 49.8%	83,556 31.9%
世帯数	177世帯	125,001世帯

### 地域の取り組みの実績

活動の中心者を「地域」、「観光協会」、「元気アップつちゅ」、「温泉協同組合」、「福島市」で分類。

- ・花いっぱい運動の実施（地域）
- ・土湯ピカピカ大作戦（一斉清掃）の実施（地域）
- ・再生可能エネルギーによる発電事業の取り組み（小水力発電、バイナリー発電）（元気アップつちゅ）
- ・地域支援事業の取り組み（元気アップつちゅ）
  - 土湯温泉足軽サービス
  - 土湯温泉通学マイロードサービス
  - 土湯温泉学光サービスの実施（現在休止中）
- ・空き店舗活用「おららの酒BAR・醸造蔵」、  
「おららのコミセ」のオープン（元気アップつちゅ、温泉協同組合、観光協会）
- ・空き家跡地に「おららの温泉納豆ラボ」のオープン（元気アップつちゅ、観光協会）

### 地域の強みとなる資源

土湯温泉は、荒川沿いに旅館が建ち並ぶ風情豊かな温泉街です。街中には“月のゆぶじえ”や“土ゆっこ”など4つの足湯があり、親水公園内を流れる東鴨川には“滝のつり橋”などの観光名所があります。

また、東鴨川の砂防堰堤を活用した小水力発電や地熱を利用したバイナリー発電等、地域全体で再生可能エネルギーの推進に取り組んでいます。

花の見どころは、女沼のツツジ、堤ヶ平のヒメサユリ、照南湖のスイレンです。  
(仁田沼のミズバショウは、産学官連携にて「植生回復プログラム」を実施中)

特産品としては、手作りこんにゃく、温泉たまごやプリン、温泉まんじゅうが有名です。温泉納豆、甘酒、どぶろくなどの地元素材を活かした発酵メニューが開発され、「発酵温泉地」としての新たな魅力を築いています。

工芸品としては、日本三大こけしである「土湯伝統こけし」が有名です。伝統継承しながら、創意工夫により、現代的なデザインが誕生。新たなファン層を広げ、伝統を守りつつ地域文化の魅力を発信しています。

祭りは、太子講、こけし祭り、盆踊り、熊野神社例大祭などがあり、にぎわいをみせています。

また、高地にある土湯峠温泉郷には、磐梯吾妻スカイラインやブナの原生林、大自然に恵まれた多くの見どころがあります。

## 地域課題

- (1) 定住人口減少及び少子・高齢化への対応
- (2) 交流人口及び関係人口拡大への対応
- (3) 空き家、空き店舗の解消と活用
- (4) 災害に強いまちづくり
- (5) 温泉観光地としての活性化
- (6) 国立公園としての環境と景観の保全

## 重点的な取り組み

### I 地域コミュニティ

【方針1】 住み慣れた地域で心豊かできれいなまちづくりを進めます。

(継続) きれいなまちづくりのため「花いっぱい運動」や「土湯ピカピカ作戦（一斉清掃）」を実施します。

(継続) 地域の美化を推進するため、ポイ捨て防止の呼びかけや不法投棄の防止啓発に努めます。

(拡充) 定住人口の増加を目指して地域の方、地域おこし協力隊からの発信で古民家、温泉リトリート<sup>※3</sup>やワーケーションの価値を提供します。

※3 「温泉リトリート」とは  
日々の喧騒から離れ、温泉や自然の中で心身を癒し、自分と向き合う時間を持つ旅のこと。

### II 安全・安心

【方針1】 安全と安心を実感できる地域づくりを推進します。

(継続) 高齢者宅を中心とした防犯パトロール、防火診断、交通安全運動を実施します。

(継続) 地域の防災力の向上を目的にした地域防災訓練を実施します。

(継続) 自然災害による道路の被害を防ぎ、地域の人が安心して暮らせる環境づくりを進めます。

(拡充) 指定避難所の「中之湯」、一時避難所の「土湯温泉 ホテル向瀧」に加え、新たな地域の避難所を検討します。

(新規) 大雨や地震による土砂災害から命を守るため、「地区防災計画」及び「地区防災マップ」を作成し、危険箇所や避難所を示し、迅速な避難を促します。

(新規) 災害時に迅速かつ的確な避難行動につなげられるよう、地域の方に対し、防災アプリやテレビ等からの情報収集方法の啓発をします。

(新規) 「旧土湯小学校」跡地利用を防災の観点から検討します。

### III 歴史・文化

【方針1】 地区の文化財や土湯伝統こけしを保存活用します。

(継続) 太子信仰による聖徳太子堂や上杉藩の家老直江兼続にゆかりのある興徳寺、山の守り神が祀られている熊野神社を保存活用します。

(継続) 地域の祭りとして、太子講、こけし祭り、盆踊り、熊野神社例大祭を実施して歴史と文化を守ります。

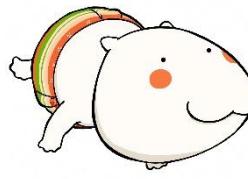
(継続) 土湯伝統こけしと工人の技術を守り、後継者育成（支援）に努めます。

(継続) 土湯伝統こけしや、土湯で発見されたパレオパラドキシアの化石をモチーフに、土湯温泉のキャラクターとして活用します。

土湯伝統こけしは、「きぼっこちゃん」、パレオパラドキシアの化石は「ゆパッチー」という愛称で土湯温泉のキャラクターとして活用されています。



【きぼっこちゃん】



【ゆパッチー】



【ほほえみがえし】

### IV 健康増進・福祉

【方針1】 生涯にわたって健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

(継続) 住民同士が定期的に交流できる場として土湯健康教室を開催します。

(継続) 福祉制度を利用し、一人暮らし高齢者の安否確認や相談先を広報します。

(継続) 安心して生み育てるために親と子の健康づくり等の環境整備に取り組みます。

(拡充) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境整備（移動支援、交流支援）に取り組みます。

(継続) 住民、民生児童委員、地域包括支援センター等が連携を強化し、地域のネットワークづくりに努めます。

(新規) 地域包括支援センターの公式LINEの普及を促し、身近な相談環境づくりを支援します。

### V 魅力ある温泉観光

【方針1】 温泉や伝統こけし等を活用した温泉観光地の活性化に努めます。

(継続) 公衆浴場「中之湯」、土湯温泉まちおこしセンター「湯楽座」、土湯温泉観光交流センター「湯愛舞台」によりにぎわいを図ります。



【公衆浴場 中之湯】

(継続) 東鴨川の砂防堰堤を利用した小水力発電や地熱を利用したバイナリー発電等、再生可能エネルギーを推進します。

(継続) 土湯伝統こけし工人、旅館、商店等の後継者育成（支援）に努めます。

(継続) 健康づくりに視点を置いた国民保養温泉地を充実します。

(継続) 空き店舗活用で「おららの酒BAR・醸造蔵」や「おららのコミセ」、さらに、空き家跡地に設けた「おららの温泉納豆ラボ」を拠点として、新たなまちのにぎわいの創出に努めます。

(新規) 高齢者の移動手段の確保や観光客の周遊に資する新たな交通手段について検討します。

(新規) 「心のバリアフリー」「食のバリアフリー」を推進します。

(新規) 土湯温泉を「美と健康の温泉地」としての魅力を発信します。「いい醸（かも）つちゅ！」プロジェクトでは、「温泉×発酵」の力で新たな“温泉メシ”を創出し、発酵食品を通じて観光振興に取り組みます。

### VI 豊かな自然

【方針1】 国立公園の美しい自然環境を保全し、景観美を大切にします。

(継続) 磐梯朝日国立公園の中にあって、日本一の清流「荒川」の上流に位置し、「男沼、女沼、仁田沼、照南湖」など湖沼群に恵まれた豊かな自然環境を守り育てます。

(継続) 景観保全に努めつつ、訪れる観光客等が安全で快適な利用を進めるため、遊歩道等の整備活用を推進します。